治療同意書

慶應義塾大学病院
Keio University Hospital

慶應義塾大学病院長殿

病状・治療に関して

消化管間質腫瘍（Gastrointestinal Stromal Tumor：GIST)に対して、現在二次治療としてスニチニブ(50mg/日)による治療を継続中。今回、意識障害を主訴に来院された。意識障害の精査および加療目的に入院での治療を要する。検査は頭部CT・MRI検査や腹部CT検査、血液検査等、治療は分岐鎖アミノ酸（BCAA）製剤等の投薬を予定している。治療内容は検査内容や状況に応じて変更となる可能性がある。
医療の質や医療技術向上のため、本治療の経過で得られた血液検査データや画像検査データを匿名化した上で学術集会、研究会、論文の資料として使用させていただくことがあります。

私は、以下の事項を確認した上、上記の治療を申し込むことに同意します。

☑治療の説明書に基づいて医師から十分に説明を受け、不明な点は質問をして回答を得ました。

☑治療の内容、注意を要する副作用、適応等について説明を受けました。

☑この治療方法を拒絶できることの説明を受けました。

☑研究利用に関する説明を受けました。

令和5年 5月8日

患者署名： [redacted]

保証人署名（続柄　　）：

病院側　説明者：　船越 信介/浜本 康夫/早川 宇宙